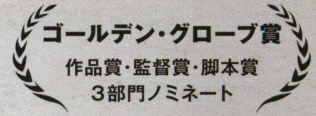
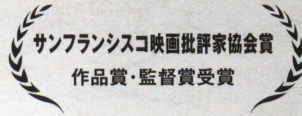
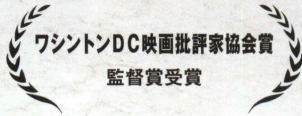
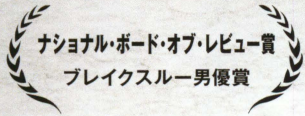
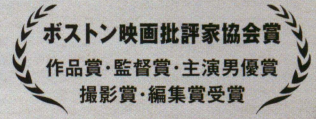
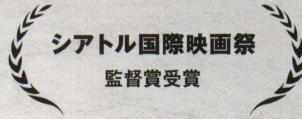
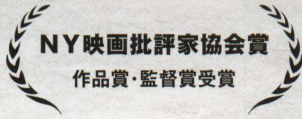
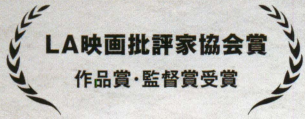


本年度アカデミー賞 最有力作品



※2009年12月18日現在

キャスリン・ビグロー監督作品

ハート・ロッカー

THE HURT LOCKER

世界で最も危険な仕事に就く、アメリカ軍爆発物処理班の2004年、夏。イラク、バクダッド郊外。



VOLTAGE PICTURES PRESENTS IN ASSOCIATION WITH GROSVENOR PARK MEDIA, LP AND F.C.F.F. S.A.
A VOLTAGE PICTURES / FIRST LIGHT / KINGSGATE FILMS PRODUCTION OF A KATHRYN BIGELOW FILM
"THE HURT LOCKER"

JEREMY RENNER ANTHONY MACKIE BRIAN GERAGHTY EVANGELINE LILLY WITH RALPH FIENNES DAVID MORSE AND GUY PEARCE
CASTING BY MARK BENNETT MUSIC BY MARCO BELTRAMI AND BUCK SANDERS MUSIC SUPERVISOR JOHN BISSELL
PRODUCTION DESIGNER KARL JÜLLUSSON COSTUME DESIGNER GEORGE LITTLE SOUND DESIGN PAUL N.J. OTTOSSON
EDITORS BOB MURAWSKI CHRIS INNIS DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY BARRY ACKROYD, BSC
EXECUTIVE PRODUCER TONY MARK PRODUCED BY KATHRYN BIGELOW MARK BOAL NICOLAS CHARTIER GREG SHAPIRO

WRITTEN BY MARK BOAL DIRECTED BY KATHRYN BIGELOW

<http://www.hurtlocker.jp/>

提供：ブロードメディア・スタジオ、ボニーキャニオン

配給：ブロードメディア・スタジオ Broadmedia



© 2008 HURT LOCKER, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

永遠を思わせる戦場
刹那を生きる男たち

ジェレミー
レナー

アンソニー
マッキー

ブライアン
ジェラティ

レイフ
ファインズ

デヴィッド
モース

ガイ
ピアース

PG12

世界が、この現実にも胸を奪われた。

完璧に近い映画。最高傑作。

—タイム誌

他に類のない偉業。本能を揺さぶるサスペンスとサプライズの力作。

—ニューヨーク・タイムズ紙

文句なしの作品。この素晴らしい映画が終わりに近づく頃、心の底から確信する。

—ロサンゼルス・タイムズ紙

素晴らしい映画としか言いようがない。

—ワシントン・ポスト紙

本能を揺さぶるアクション映画の第一級作品。

—LAウィークリー紙

アカデミー賞最有力候補作品の一つ。魅了する力と知性を備えた最高傑作。

—ロジャー・エバート(映画評論家)

20年後にも研究されるであろう緊迫、恐怖、勇気を描いた傑作。

—ザ・ニューヨーカー誌

見事な手法。さらには、三人の見事な演技。

—ウォールストリートジャーナル紙

毛が逆立つような張り詰めた緊迫感と巧みな表現。

—GQ誌



防護服に身を包み、爆弾の配線を確認して信管を取り除く任務。戦場という名の日常。
死に最も近い米軍爆発物処理班の兵士たちを描き、本年度アカデミー賞最有力。

『ハート・ロッカー』は、世界で最も危険な仕事の一つ、アメリカ軍、爆発物処理班のある兵士を追った物語である。監督は『ハートブルー』『K-11』のキャスリン・ビグロー。脚本は、ジャーナリストであり、脚本家でもあるマーク・ボールが自らの取材を元に執筆している。主演には、ジェレミー・レナーが、ジェームズ二等軍曹を演じ、サンボーン軍曹をアンソニー・マッキー、エルドリッジ技術兵をブライアン・ジェラティが演じている。さらに、レイフ・ファインズ、ガイ・ヒアース、デヴィッド・モースなど豪華実力俳優が脇を固めている。


自らの命を犠牲に自爆テロを行う者。自らの命を懸けて爆弾を処理する者。
両者は、高ぶる思いと死への畏れと使命感を胸に、戦場の最前線で今日を生きる。

2004年夏。イラク、バグダッド郊外。アメリカ軍の爆発物処理班は、死と隣り合わせの前線の中でも最も死を身近に感じながら爆弾の処理を行うスペシャリストたち。ある日も爆弾の処理を行い、退避しようとした瞬間に突如、爆弾が爆破。一人が殉職してしまう。新しい中隊のリーダーに就任したウィリアム・ジェームズ二等軍曹(ジェレミー・レナー)は、基本的な安全対策も行わず、まるで死に対する恐れが全くないかのように振舞う。補佐に付くJ.T.サンボーン軍曹(アンソニー・マッキー)とオーウェン・エルドリッジ技術兵(ブライアン・ジェラティ)は、いつ死ぬかもしれない緊張感、特に一瞬の判断のミスが死に直結する爆発物処理の任務のなかで、徐々にジェームズへの不安を募らせていく。彼は、虚勢を張る只の命知らずなのか、それとも勇敢なプロフェSSIONナルなのか…。そんな男たちの想いとは無関係に激しい戦闘行為が繰り返される日常は続き、爆弾処理の毎日が過ぎていく。ブラボー中隊、任務明けまで、あと38日。

監督:キャスリン・ビグロー(『ハートブルー』『K-11』)

キャスト:ジェレミー・レナー/アンソニー・マッキー/ブライアン・ジェラティ/レイフ・ファインズ/デヴィッド・モース/ガイ・ヒアース

2008年/アメリカ映画/原題:THE HURT LOCKER/カラー/上映時間:131分/アメリカンビスタ/ドルビーデジタル/PG12

提供:ブロードメディア・スタジオ/ポニーキャニオン 配給:ブロードメディア・スタジオ Broadmedia

<http://www.hurtlocker.jp/>

powered by
ハリウッドチャンネル



3/6 (SAT) TOHOシネマズ みゆき座、
TOHOシネマズ 六本木ヒルズほか 全国ロードショー